

上水道の広域化 事業統合を問う

答 事業の一本化に向け様々な方向からの検討が必要



大城 真孝 議員

問 将来、上水道を広域化、事業統合と聞く。津嘉山と神里地域の上水の一部はブレンド水だと思うがどのように認識しているか。

副町長 沖縄県は、平成44年度までに離島を含む県内全域での上水道の広域化を計画しているようである。町内では津嘉山、山川、神里地域の一部で約200世帯にブレンド水が供給されている。企業局からの供給水を町全体で利用できた方が望ましいと考えている。

問 南部水道企業団で進めている浄水場の更新事業は29年度に設計が入っているがどう考えているか。

町長 南部水道の理事も一緒になって検討し、見切り発車することがないように、私たちも十二分に調整していく。

問 将来、町の下水道と南部水道の上水道の公会計にする前に、南部水道が検討している統一化に向けての考えは持っているか。

町長 公会計に向けた準備や上水道の一本化・一元化は将来に向け、どのような取り組みを行った方がいいのか、単独でいいのかも含めていろいろな角度からどのように進むべきか話し合いを持つよう指示している。

津嘉山小学校南側避難通路整備を問う

問 津嘉山小学校避難通路整備が今年度予算計上されていないがその理由を問う。

教育長 避難通路事業については、平成28年度予算で計上した用地費や物件補償費を平成29年度に繰り越して、平成30年度より工事を進めていく。

問 平成28年度は何も行っていないのに繰り越した。一部は実施できたのではないかと考える。その点に対してどうか。

教育部長 指摘の事業については、平成29年度に繰り越して用地購入・物件補償を行い平成30

年度工事着工に向け鋭意努力していきたい。



津嘉山小南側避難通路